第 18 講　庶民の台頭と一揆

1　庶民の台頭

①惣〔惣村〕の成立

荘園・公領の枠を越えた自然村落の自立的・自治的結合をいう。鎌倉末期に**畿内**やその周辺に発生，**南北朝時代**以後に全国化。

A　**自治的結合の背景**

あ　**鎌倉期の生産力向上による，独立小農民の成長。**⇒作人が小名主に成長

い　**入会地**の入会権や用水問題に関する結合の必要性

う　荘園領主や国人の不当な要求への対抗

え　**鎌倉末期・南北朝時代の戦乱期における，略奪・傷害に対する自衛。**

B　惣〔惣村〕の構成

あ　構成員＝**惣百姓**

名主および新興の独立小農民（もとの作人）

い　指導階層＝**おとな〔長・乙名〕**・**沙汰人**・番頭・年寄

有力名主の代表者で，守護大名・国人などと主従関係を結び，**地侍**となる者もあった。

---

②惣〔惣村〕の運営

A　**寄合**⇒村民の会議

あ　**宮座**（＝上層農民たちの祭祀集団）が主導

い　**惣掟〔村掟〕**を定め，違反者は**地下検断〔自検断〕**により追放。

う　鎮守の祭礼，入会地・用水の管理・整備。

B　**地下請**〔百姓請・村請〕

領主に納める年貢を，惣全体の責任で一括して請け負う。

C　**共同作業**

結・もやい

D　相互金融

無尽（講）・頼母子（講）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③惣郷・惣荘

幾つもの惣が荘園・公領ごとに結合・発展し，より大規模な自治組織も生まれた（＝惣郷・惣荘）。惣百姓は領内の枠を越えて相互に連帯したため，**荘園公領制の解体が進行**した。

---

④土民の抵抗

A　背景

惣百姓など庶民（＝**土民**）の強い連帯意識⇒起請文を作成し，**一味神水**により結束を固める。

B　要求

不法代官の罷免，水害・冷害・干害時の年貢減免，関所の撤廃，徳政令発布など。

C　抵抗手段⇒“荘家の一揆”

あ　**愁訴**

年貢減免などを百姓申状にして，領主に嘆願すること。

い　**強訴**

集団の威力を背景に，強圧的に訴えること。

う　**逃散**

一村が団結して耕作を放棄し，他領へ一時退去するなどの方法で抵抗すること。

D　連帯行動

指導者は武士化（＝**地侍**）し，広く周辺の惣と連合。荘園領主や国人の領主支配は次第に困難化。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤一揆の拡大

A　土一揆（どいっき）

1428年　正長（しょうちょう）の徳政一揆

—尋尊（じんそん）『大乗院（だいじょういん）日記目録』・"柳生（やぎゅう）の徳政碑文（ひぶん）" より—

☆**近江国坂本の馬借（ばしゃく）の蜂起（ほうき）**が発端

☆京内に乱入，酒屋・土倉・寺院を襲撃し**畿内各地で私徳政を実行。**

1429年　播磨の土一揆　—中山定親（さだちか）『薩戒記（さつかいき）』より—

☆**守護赤松満祐（あかまつみつすけ）**による守護領国制の展開に抵抗

⇒ "侍（さむらい）をして国中に在（あ）らしむべからず"

1441年　嘉吉（かきつ）の徳政一揆

☆土民勢力が嘉吉の変に乗じ**"代始（だいはじ）めの徳政"**を要求，幕府は**初の徳政令**（山城一国平均）を発布。

☆以後の幕府は，**分一銭（ぶいちせん）**獲得のために分一徳政令や徳政禁制令を濫発（らんぱつ）。

B　国一揆（くにいっき）　（国人一揆と土一揆が**一国単位**で結合）

1485年　山城の国一揆　—**尋尊ら『大乗院寺社雑事記（ぞうじき）』**より—

☆**両畠山（はたけやま）軍（政長（まさなが）・義就（よしなり））の山城国退去**，寺社本所領の還付，関所の新設停止の３点を要求し，畠山氏を追放。**国人の月行事（がちぎょうじ）〔36人衆〕らによる自治が８年間続いた。**

C　一向一揆（いっこういっき）（**一向宗〔浄土真宗〕**の坊主（ぼうず）・門徒（もんと）による一揆）

1488年　加賀の一向一揆　—『蔭凉軒日録（いんりょうけんにちろく）』『実悟記拾遺（じつごきしゅうい）』より—

☆**本願寺８世蓮如（れんにょ）**が，**越前国吉崎（よしざき）**を拠点に**講（こう）**を組織し惣を直接掌握（しょうあく），平易（へいい）な**御文（おふみ）〔御文章（ごぶんしょう）〕**を用いて布教。

☆**加賀国守護富樫政親（とがしまさちか）を滅ぼし**て富樫泰高（やすたか）を擁立（ようりつ）し，**約１世紀の間自治支配を続けた**が，1580年，織田信長により討滅される。

D　法華一揆（ほっけいっき）（京都町衆（ちょうしゅう）の日蓮宗徒（にちれんしゅうと）による一揆）

15世紀半ば，京都における**日親（にっしん）**〔鍋冠（なべかぶ）り上人（しょうにん）〕の戦闘的な布教が，商工業者の信者を生み出す。

1532年　法華一揆

☆京都を守るため，一向宗の**山科（やましな）本願寺**（10世証如（しょうにょ））を焼打ち。

1536年　天文（てんぶん）法華の乱

☆比叡山（ひえいざん）延暦寺と六角（ろっかく）氏（近江国）による，京都の日蓮宗寺院の焼打ち事件。法華一揆は一時的に京都を退（しりぞ）くこととなった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第18講　庶民の台頭と一揆　テスト

1　鎌倉末期，畿内やその周辺に発生し南北朝期以降に全国化した，荘園・公領の枠を越えた自然村落の自立的結合を何というか？

①　里　②　郷　③　荘　④　惣

2　村民〔惣百姓〕たちの共同利用地を一般に何というか？

①　入会地　②　村入用　③　宮座　④　高請地

3　一揆を結成するための一味同心の儀式を，一般に何というか？

①　寄合　②　一味神水　③　結・もやい　④　無尽・頼母子

4　室町時代の農民の抵抗手段としてふさわしくないものを一つあげよ。

①　愁訴　②　強訴　③　逃訴　④　国訴

5　1428年に発生した正長の徳政一揆に関する碑文が現存する，大和国の地名を選べ。

①　飛鳥　②　斑鳩　③　吉野　④　柳生

6　正長の徳政一揆を平定した管領とは？

①　細川頼之　②　斯波義将　③　畠山満家　④　細川勝元

7　『大乗院日記目録』『大乗院寺社雑事記』の著者でもある，一条兼良の子とは？

①　成尋　②　慈円　③　尋尊　④　如拙

8　1429年，播磨の土一揆を平定した“四職”の一人とは？

①　赤松則村〔円心〕　②　山名氏清　③　赤松満祐　④　山名持豊〔宗全〕

9　嘉吉の変・嘉吉の徳政一揆が発生した年は？

①　1428年　②　1429年　③　1438年　④　1441年

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

10　領主化した地方武士たちの一揆を何というか？
①　国人一揆　②　土一揆　③　国一揆　④　一向一揆

11　1485年に発生した山城の国一揆で退去を余儀なくされた，“三管領”の一つである守護大名とは？
①　細川氏　②　斯波氏　③　畠山氏　④　京極氏

12　本願寺８世法主である蓮如〔兼寿〕が拠点とした，越前国の地名とは？
①　吉崎　②　山科　③　石山　④　今井

13　1488年，一向一揆により滅ぼされた，加賀国の守護大名とは？
①　富樫政親　②　富樫泰高　③　朝倉孝景〔敏景〕　④　前田利家

14　６代将軍足利義教に『立正治国論』を献じ，焼鍋冠りの拷問にあった僧とは？
①　春屋妙葩　②　明兆〔兆殿司〕　③　日親　④　日奥

15　1536年に発生した，京都の日蓮宗21カ寺焼打ち事件を何というか？
①　上杉禅秀の乱　②　永享の乱　③　享徳の乱　④　天文法華の乱

解答

1　④	2　①	3　②	4　④	5　④
6　③	7　③	8　③	9　④	10　①
11　③	12　①	13　①	14　③	15　④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。